



プロジェクト名称

アジア学生とのサステナブル都市協働提案

プロジェクト活動概要

アジアの急激な経済成長により多くのアジア諸国ではインフラ整備の遅れが起きている。インフラ整備の遅れに伴って公害問題をはじめとした環境問題が起こっており、社会は持続可能性(※1)を失っている。

そこで我々は社会の基盤であるインフラに焦点を当て、持続可能なインフラの在り方をアジアの学生(※2)とともに知識の共有や議論してでた結論をまとめ、サステナビリティレポートとしてアジアの学生に提案することを最終目標としている。

またグローバルで且つ持続可能な社会形成を目指した人材の輩出を行うことで持続可能な社会形成を目指している。(※3)

〈プロジェクトのテーマの流れ〉



※1

将来の世代のニーズを充たしつつ、現在の世代のニーズをも満足させるような社会と我々は考えている

※2

我々は現在、タイの学生とワークショップを行っている。理由として以下に箇条書きで示す。

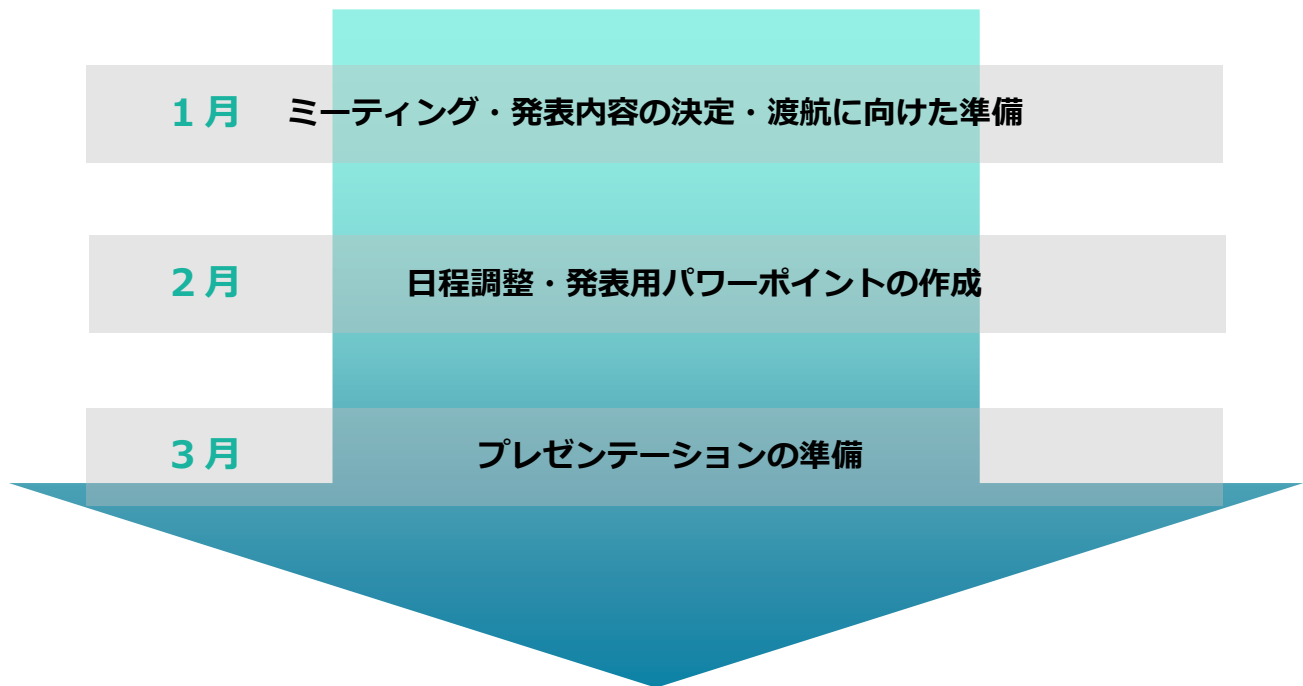
- ・ 芝浦工業大学と KMUTT が国際交流協定 (MOU: Memorandum of Understanding) を締結している
- ・ タイのインフラ成長の仕方が日本の高度経済成長期に類似している点がある
- ・ 他のアジア諸国に比べて治安が安定しており渡航を安全に行うことが出来る
- ・ プロジェクトは今年で 8 年目でありその中で主にタイのインフラについて考えてきた
その為、タイのインフラをそれぞれのテーマで複合的に考える事が出来る

等の様々な点を考慮した結果、これからもタイに焦点を当てていこうと考えている。

※3

・ 「アジア学生によるサステナブル都市協働提案」からは多くの学生がテーマに沿ったインフラ系の職業に就職している。メンバーが社会人になった後、本プロジェクトで得た経験・能力・考え方を活かしグローバルな視点で各分野において持続可能な社会を築き上げてもらいたい。

・ 他学生にも、持続可能な都市の在り方について考えてもらうために外部発信や様々な企画を行い、持続可能な社会形成の一助となるプロジェクトとして在りたい。



渡航 (3 月 5 日-3 月 13 日)

- 持続可能な開発と「足るを知る経済」についての特別講義
- Goat farm (KMUTT) ■ 水を用いない洗浄についての学習
- Fiber Pattana ■ KMUTT 教授・学生との交流
- ワークショップ

● 活動詳細

1 月

➤ ミーティング

1 月はミーティングを週 1-2 回のペースで行い、発表内容の決定と渡航に向けた準備を行った。発表内容については昨年度の内容を取り入れつつ、「省エネ」に焦点を当て、さらに「民生」・「交通」・「産業」の三つに分野を分け、掘り下げることにした。

また、ワークショップでの話し合い内容決定や、渡航までの流れの確認も行った。

➤ 英語力の強化

TOEIC の受験による自己啓発を行い、英語力の強化を行った。



2 月

➤ 日程調整

カウンターパートである KMUTT (モンクット王トンブリー工科大学) の Thidarat 教授からプログラムの提案を頂き、スケジュール決定や、航空券・ホテルのブッキングを行った。

➤ 発表用パワーポイントの作成

1 月のミーティングで決定した発表内容をパワーポイントにまとめる作業を行った。まずは日本語で作成・内容確認を行い、その後、英語に訳す作業を行った。

〈パワーポイントの一例〉

パワーポイントの作成により、相手にわかりやすく伝えるレイアウトの仕方や、翻訳による英語力の向上を図ることができたと感じている。今回培われた知識や経験を、今後の活動に積極的に取り入れていこうと思う。

3 月 5 日-3 月 13 日【渡航】

持続可能な開発と「足るを知る経済」についての特別講義

目的：タイにおける持続可能な開発と「足るを知る経済」について知識を深める。

内容：KMUTT の Thidarat 教授から直接教えて頂いた。持続可能性の概要だけでなく、点数による評価方法についての説明も聞くことができた。

また、Thidarat 教授の友人の方から排水バルブについてお話を頂くことができた。

私たちは、今回教えて頂いたことを今後の活動に生かしていくと共に、大学や自分たちが住んでいるまちなどの評価も行って行きたいと考えている。



Goat farm (KMUTT)

目的：タイにおけるエネルギー削減について知識を深める。

ここでは、電極を用いた水の浄化を見ることができました。浄化した水は、植物の水やりに利用することです。



水を用いない洗浄についての学習

目的：タイにおけるエネルギー削減について知識を深める。

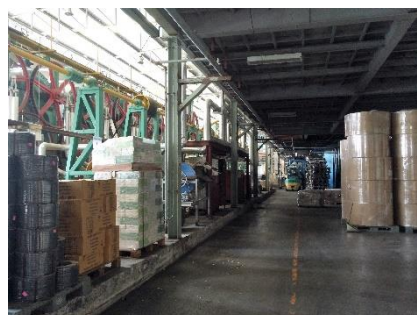
ここでは、オゾンを利用した洗浄 (=水を使わない洗浄) についてお話を頂きました。オゾンによるリンゴの洗浄や、食紅の脱色など、これまで学んだことのない技術を見ることができました。



Fiber Pattana (Beverage Carton Recycling Centre)

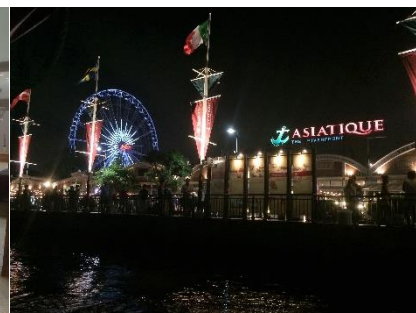
目的：タイにおけるリサイクルについて知識を深める。

ここでは、タイ各地から集められたゴミから造られる建材の製造過程を見学しました。また、再生紙の製品を手にとって見る事ができました。ここで造られた製品は日本を含めた世界各地に輸出されているとのことでした。





立公園やバンコク市内の観光地などを案内して頂いたり、食事を共に食べたりした。その為プロジェクトメンバーの誰もが英語を話すことに対する抵抗が小さくなったと答えている。この関係を来年度も引き続き、今後の活動につなげていきたいと考えている。



今後の活動計画、目標、意気込みなど

● 今後の予定

5月22日：大宮祭で最終成果発表会

5月下旬～6月上旬：Thidarat 教授来日。インフラツアー開催

6月：申請会

● 意気込み

渡邊圭悟（環境システム学科3年）

今年度の活動を振り返ってみると改めて英語力の不足を感じることができました。今後は普段のミーティングの中で英語の学習も取り入れていこうと考えています。

来年度は代表としてメンバー全員をしっかりと引っ張っていけるよう頑張ります。

関口雄太（環境システム学科3年）

今年度は諸事情があり、渡航する事が出来なかったのですが、来年度は渡航に行くことができるようにしたいと思います。来年度もメンバー全員で頑張ります。

松本佑太（環境システム学科2年）

今年は交通について調べていきます。この分野では社会の歴史や文化と密接に関わっています。そこでもう一度タイの文化を学び交流していくことにも力を入れていきます。交通の分野では日本の優れているところを再確認し、タイの交通に合うように最適化していきます。そのため多くの交通分野でのフィールドワークをこなしていきます。

2015 年度

学生プロジェクト活動状況報告書 3月号



湊優介 (機械制御システム学科 2年)

今年度私は英語の能力を極端に欠いていたのが最大の問題です。来年度は英語の能力を上げることを前提として、積極的にプロジェクトに関わっていこうと考えています。